



第3次茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～

2026年3月27日策定



第3次茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～

【これまでの成果】

- 県外企業立地件数が **8年連続全国第1位**
- 農産物の輸出額は8年間で **約24倍** に増加
- 1人当たり県民所得は **3年連続全国第3位**
- 県立中央病院と県立こども病院の統合を含む **水戸保健医療圏の病院再編** の具体的な検討に着手
- 「**あすなろの郷**」の再編整備が完了
- つくばサイエンス高校、**公立として全国初のIT専科高校** となる **IT未来高校** を開校
- 「**パートナーシップ宣誓制度**」の自治体間連携を推進し、22都府県266市町村と連携（2026年2月現在）
- 2024年の観光消費額は **4,447億円** と **過去最高額を更新**
- 本県情報のメディア掲載による **広告換算額** が8年間で **4倍** に増加

人口減少に打ち勝ち、「強い茨城県」を構築するため 茨城のポテンシャルを更に磨き上げ



- 4つのチャレンジ「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」をさらに進化
- **本県に他地域にはない特長をつくるための「差別化」**
本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」
「多様な人財が活躍できる社会の実現」に、特に重点的に取り組む

第3次茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～

【計画期間】2026～2029年度（4年間）

構成

- (1) 将来構想
- (2) 計画推進の基本方針
- (3) 基本計画
- (4) 「挑戦する県庁」への変革

4部
構成

基本理念

活力があり、県民が日本一幸せな県

加速する人口減少時代においても、県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増えるような、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦します。

策定のポイント

- 「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の4つのチャレンジを進化
- 4つのチャレンジ推進にあたっては、特に、「差別化」、「インフラへの投資」、「多様な人財が活躍できる社会の実現」の3つの取組を重点的に推進
- 4年間で挑戦する政策で、新たに「外国『人財』に選ばれ、共に成長する秩序ある共生社会」を位置付け
- 将来にわたり本県が夢や希望を持ち、より「楽しさ」を感じられる地域であり続けられるよう、「新しい夢・希望」について、「魅力、観光、若者、楽しさ、DX、インフラ」など、関連性の高い政策・施策群に見直し
- 引き続き、「いばらき幸福度指標」の活用により、本県の強みや弱みを把握し、「県民幸福度No.1」へ挑戦



第3次茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～

○ 3つの基本姿勢の下で推し進めてきた4つのチャレンジによる政策を、さらに進化

「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 1 質の高い雇用の創出
- 2 新産業育成と中小企業等の成長
- 3 強い農林水産業
- 4 世界に飛躍する茨城
- 5 自然環境の保全・再生

「新しい安心安全」へのチャレンジ

- 6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉
- 7 健康長寿日本一
- 8 障害のある人も暮らしやすい社会
- 9 安心して暮らせる社会
- 10 災害・危機に強い県づくり

「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 11 次世代を担う「人財」
- 12 魅力ある教育環境
- 13 日本一、子どもを産み育てやすい県
- 14 多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会
- 15 外国「人財」に選ばれ、共に成長する秩序ある共生社会

「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 16 魅力発信No.1プロジェクト
- 17 ビジット茨城～新観光創生～
- 18 若者が集い、「楽しさ」あふれる茨城
- 19 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

○ 「特に重点的に進める3つの取組」を強力に推進し、「新しい茨城」づくりを加速

本県に他地域にはない特長をつくるための「差別化」

【主な取組】

- ・日立共創プロジェクトの推進など 県北地域の振興
- ・クリエイティブ・コンテンツ産業など 新産業の育成
- ・付加価値向上等による儲かる 農林水産業の実現

本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」

- ・水戸保健医療圏の病院再編
- ・つくばエクスプレスの土浦延伸
- ・「首都圏第3の空港」を目指した 茨城空港の機能強化
- ・新たな工業団地の造成

「多様な人財が活躍できる社会の実現」

- ・国籍や性別、年齢、障害の有無などに関わらず、誰もが能力や意欲に応じて活躍できる社会の実現

第3次茨城県総合計画 ー主要指標の見直しー

主要指標の設定

- 「新しい茨城」づくりに向けて挑戦を続けるため、施策の要となる「**骨太な指標**」を**合計77項目**設定
- **挑戦的な目標**の達成に向け、**PDCAサイクルを確実に回す**ことで、**分析・評価からスピード感を持った施策展開等につなげていく。**

主要指標の例



新しい
豊かさ

- 農業の収益力を高め、「儲かる農業」を実現するため、**生産農業所得（農業経営体当たり）**を2023年実績の**約2倍に**
- 県産品の輸出に力を入れて取り組んでいくため、**農産物・加工食品の輸出額**を2024年度実績の**約2.5倍に**



新しい
安心安全

- 治安対策を推進するため、**住宅侵入窃盗・自動車盗や、金属盗の認知件数**など、**新たな指標を設定**



新しい
人財育成

- 次世代を担う人財を育成するため、**大学進学率**を**全国10位以内**の水準へ
- 外国人との秩序ある共生社会の実現を推進するため、**IBARAKIネイティブコミュニケーションサポーターの認定数**を**150人へ増加**



新しい
夢・希望

- 本県の魅力を高め、観光産業の成長を牽引するため、**観光消費額**を2024年実績の**約1.5倍に**
- 国内外との観光・ビジネスを拡大するため、**茨城空港の旅客数**を2024年度実績から**約15万人増加**

いばらき幸福度指標（第3次県総合計画版） 指標一覧（計43指標）

いばらき幸福度指標の目的

- ・「県民一人ひとりになりたい自分像に向かって挑戦を続けられる環境」の整備・充実状況を数値で把握
- ・全国順位を算出することにより、政策の成果の確認や課題の明確化を図り、県民にわかりやすく発信

● 新しい豊かさ

雇用	①雇用者報酬（雇用者1人当たり） ②正規雇用率 ③可処分所得（勤労者世帯）
産業振興	④県民所得（県民1人当たり） ⑤工場立地件数 ⑥労働生産性（1時間当たり）
農林水産業	⑦農林水産業の付加価値創出額（県民1人当たり）
ビジネス創出	⑧起業率
環境保全	⑨CO2排出量（県民1人当たり） ⑩一般廃棄物リサイクル率

県民生活の豊かさを直接的に示す

● 新しい人財育成

※赤字は今回の指標見直し箇所

教育振興	①大学進学率 ②学力 ③不登校児童生徒率 ④子どもの運動能力
出産・育児	⑤合計特殊出生率 ⑥放課後児童クラブ待機児童率
多様性・女性活躍・人権	⑦パートナーシップ制度人口カバー率 ⑧男女の賃金格差 ⑨人権侵犯事件件数（県民1万人当たり）
働き方	⑩所定外労働時間 ⑪男性の育児休業等制度利用率
国際交流・共生	⑫留学生数（県民10万人当たり） ⑬専門的・技術的な外国人財率

育児環境の充実状況を見直し

● 新しい安心安全

地域医療・介護・保健	①医師数（県民10万人当たり） ②看護職員数（県民10万人当たり） ③介護職員数（県民10万人当たり） ④介護・看護を理由とした離職率 ⑤自殺者数（県民10万人当たり）
健康長寿	⑥健康寿命
自立支援	⑦障害者雇用率 ⑧相対的貧困率
犯罪防止・交通安全	⑨刑法犯認知件数（県民千人当たり） ⑩交通事故発生件数（県民10万人当たり）
防災対策	⑪個別避難計画策定率 ⑫自然災害被害額（3年間平均・県民1人当たり）

交通安全の状況を追加し、より多角的に測る

● 新しい夢・希望

観光振興	①外国人宿泊者数 ②国内旅行者数
若者に魅力ある雇用	③本社機能流出・流入数 ④若者就職者超過率
学び・文化・スポーツ・遊び	⑤教養・娯楽（サービス）支出額（3年間平均） ⑥無形民俗文化財件数
新しい人の流れ	⑦社会増加率
DX推進	⑧デジタルガバメント率（市町村）

高度なスキルを持った優秀な外国人財の活躍

国外との人口移動も含めた指標に見直し